

静岡市環境保全推進協力会

環境に関する取組をしている事業所紹介

クミアイ化学 化学研究所 ShIP(Shimizu Innovation Park)

～ShIP 構内・構外周辺道路沿い美化活動～

事業所紹介：化学研究所「ShIP」は静岡県内に点在していた3つの化学系研究施設（創薬研究センター、製剤技術研究センター、プロセス化学研究センター）を統合し、クミアイ化学創業の地である静岡市清水区で2023年10月から運用開始しました。清水から大海原への航海をイメージしており、異なる分野の研究者が集って連携し、イノベーション創出への期待が込められています。
https://www.kumiai-chem.co.jp/company/rd_base/ship/

代表者 高木 誠
業種 化学（農薬の製造・販売）
所在地 静岡市清水区渋川 100
電話番号 054-340-5111

【取組を始めた背景・目的等】

クミアイ化学では職場の安全衛生を確保し地域社会貢献活動の一環として、毎年、環境月間（6月）と全国労働衛生週間（10月）に合わせて清水事業所構内と構外周辺道路沿い美化活動を行っています。

【具体的な取組】

清水事業所構内と構外周辺道路沿いの雑草取りとゴミ拾いを行います。

【取組の効果・実績等】

美化活動を実施することで職場の安全衛生が確保され、社員のチームワークが強化されました。地域社会への貢献が評価され、地域住民からの信頼が得られました。集めた雑草は堆肥にして再利用することでゴミの削減とリサイクルを推進し、環境負荷軽減に取り組みました。



取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

会社とその周辺地域がより良い環境を維持し、地域全体が発展していくことを期待します。

担当 総務課

連絡先 054-340-5111

クミアイ化学 化学研究所 ShIP(Shimizu Innovation Park)

～CO²フリー電気購入～

【取組を始めた背景・目的等】

クミアイ化学 化学研究所 ShIP では ESG を重視した研究開発を目指して温室効果ガス排出削減など環境保全への取組を行っています。屋上には太陽光パネルを備え、ShIP で必要な電力の一部として使用しています。より一層の温室効果ガス排出削減のため中部電力ミライズの CO² フリー電気「Green でんき」を購入しています。

【具体的な取組】

ShIP 電気使用量の全量を CO²フリー電気として購入しています。

【取組の効果・実績等】

年間約 1,000 トン-CO² を削減 (GHG プロトコルスコープ 2) し、地球温暖化抑制に貢献しています。引き続き、環境に配慮した研究開発を継続していきます。



<https://www.kumiai-chem.co.jp/>



取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

会社とその周辺地域がより良い環境を維持し、地域全体が発展していくことを期待します。

担当 総務課

連絡先 054-340-5111

中部電力パワーグリッド株式会社静岡支社

～事業所周辺清掃の実施～

事業所紹介

当社は、2020年4月、送配電事業会社として中部電力株式会社から分社し、2023年7月には、これまでの支社・営業所・電力センターの機能を統合し、新たな静岡支社が発足しました。電気の安定供給という使命を果たすとともに、地域のお客さまのニーズに寄り添ったサービスの展開を積極的に進めています。

代表者 高山 純
業種 一般送配電事業 等
所在地 静岡市駿河区曲金六丁目3-38
電話番号 054-202-1821

【取組を始めた背景・目的等】

地域社会の一員として地域・社会の発展に貢献していくため、身近な環境活動として、社員が事業場周辺の清掃活動を実施しています。

【具体的な取組】

原則、毎月第1水曜を事業場周辺清掃活動の日として定め、事業場周辺の歩道や街路樹のゴミ拾いを実施しています。

清掃活動の際は、ゴミ袋や軍手などを社員に配付し、ペットボトルやタバコの吸い殻、落ち葉などを回収しています。

【取組の効果・実績等】

清掃活動は定着しており、社員の環境意識の向上とともに、地域の方との挨拶を通じたコミュニケーションの一助となっている。



取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

比較的短時間で簡単に取り入れられる活動です。

事業所周辺のみならず、自事業場内のゴミも回収することで事業場内の環境も保たれます。

担当 木村 正人

連絡先 054-202-1821

日本軽金属株式会社 清水工場

～ボイラ排ガスを用いた中和による原料回収と CO₂ 吸収～

事業所紹介

日本軽金属株式会社 清水工場は、風光明媚な三保半島で化成品分野のアルミナ、水酸化アルミニウムを生産している工場です。近年ではカーボンニュートラルや水ストレスへの対応など環境課題への対応に注力した事業活動を展開しています。

代表者 (工場長) 小野田 和靖
 業種 無機化学工業
 所在地 静岡県静岡市清水区三保 4025-1
 電話番号 054-334-2211

【取組を始めた背景・目的等】

製品洗浄工程で発生するアルカリ性廃液は原料成分が溶けているため、排水処理工程で中和処理した際に溶解成分が析出して産廃（排水汚泥）を発生させてしまいます。そこでこのアルカリ性廃液の処理方法の改善し、原料として回収できるプロセスを確立することで産廃削減と原料回収によるコスト削減を検討しました。

【具体的な取組】

原料として使用できる状態で回収するには、時間をかけて中和する必要があるため弱酸である CO₂ を用いた中和方法を選定しました。CO₂ 源としては工場内で発生する汚染の少ない燃焼排ガスであるボイラ排ガス（燃料：都市ガス）を用いることにしました。

【取組の効果・実績等】

原料成分を回収することで 600～1,000t/年の産廃を削減できたことに加え、中和後の廃液には CO₂ が CO₃²⁻（炭酸イオン）の状態が存在するので、300～500t-CO₂/年の CO₂ を大気中に放出させず、排水中にイオンの状態で封入する副次効果も得られました。



ボイラーから排出されるガスによる中和処理施設

取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

当初は産廃削減が主目的でしたが、昨今のカーボンニュートラル施策にある CCS に類似した CO₂ 吸収効果も得られることがわかりました。一方で CO₂ による中和で析出した原料は微細であるため、安定した回収ができないと排水中の SS 濃度へ影響するといった課題にも直面しました。これらの課題を解決しながら、事業特性を生かしてより付加価値の高い活動をしていきたいと思えます。

担当 (環境管理室長) 平野 健

連絡先 054-334-2212

日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 清水事業所

～環境保全活動への参加～

事業所紹介

「安全で快適、そして持続可能な世界」の実現に向けて、高い省エネ性と快適性を追求し環境負荷の低減と地球環境の保全に配慮した業務用空調機等の開発から製造を一貫して行っている事業所です。

代表者	阿部 宏樹
業種	業務用空調機等の開発、設計及び製造
所在地	静岡市清水区村松 390 番地

【取組みを始めた背景・目的等】

「環境保全活動」に参加することで、身近な場所も環境破壊が進んでいることや地球温暖化、気候変動による環境への負担など自分たちの生活も大きな影響を受けていることを理解し、「自分たちにもできることはないか」を考えるきっかけになればと思います。

【具体的な取組み】

- ・ 静岡市環境保全推進協力会…[三保松原 枯れ松葉回収作業\(5月\)](#)、[三保真崎海岸清掃\(6月\)](#)、[松の植樹地下草刈り\(6月・10月\)](#)
- ・ 静岡県産業廃棄物協会…[不法投棄廃棄物回収作業\(5月・12月\)](#)



三保松原 枯れ松葉回収作業



三保真崎海岸清掃



松の植樹地 下草刈り



不法投棄廃棄物回収作業

取組を始めた方へのアドバイス・メッセージ等

「環境保全活動」と聞くと、清掃活動などに参加して自然環境を守るための取組みであると思われがちです。しかし、「環境保全活動」には自然環境への負担を少なくすることで、人々の暮らす環境を守るといった目的も含まれています。家庭や会社での節電や、消費期限の近いもの、訳あり品などの食材を積極的に購入することで食品ロスを減らすこともできます。

できることから環境保全活動を始めてみましょう！

担当 設備管理課

連絡先 054-398-5200

日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 清水事業所 ～廃棄物廃棄量削減活動～

【取組みを始めた背景・目的】

生産に伴い発生する廃棄物や部品納入時の梱包材、事業系一般廃棄物のリサイクル化により廃棄量の削減と環境負荷の低減を目的に実施しています。

【具体的な取組み】

- ・ 職場毎に排出される廃棄物が異なるため、廃棄物サンプルを使用した「職場別廃棄物分別教育」の実施

◆主な教育項目：環境関連法規、事業所内ルールの再確認、分別廃棄の費用対効果

- ・ 各職場での「ビニール系廃プラスチック」の分別による有価物化
- ・ 処理委託先の見直しによる有価物化



有価物(透明・白色ビニール系廃プラスチック)



廃棄物(色付ビニール系廃プラスチック)

【取組みの効果】

- ・ 「職場別廃棄物分別教育」実施⇒分別廃棄の必要性再確認・環境問題への意識向上
- ・ 廃棄物廃棄量の削減⇒廃プラスチックの分別細分化により廃棄量削減を実現

主な有価物化品



部品トレイ



樹脂成型材クズ(材質分別要)



梱包材(発泡ポリプロピレン)のインゴット化



(溶解)



取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

- ・ 「廃棄物分別教育」では分別方法に加えて、有価物売却と廃棄物処理の費用比較や、分別した廃棄物や有価物がどのような資源に生まれ変わるのかを説明することにより分別廃棄の必要性の理解へと繋がります。
- ・ 処理委託先を見直すことで廃棄物が有価物として取引される場合があります。

担当 設備管理課

連絡先 054-398-5200

日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 清水事業所 ~環境に配慮した製品づくり~

「空冷式冷専スクリーチャーユニット(モジュールタイプ)」の開発

環境影響度に配慮した冷媒 R1234yf を採用した製品を開発し

環境負荷の大幅な低減を図りました。

チラーユニットとは…

年間を通じての冷却需要の増加に対応し、冷水を安定供給できる冷却専用機で、空調用のほかに各種工場の生産設備冷却などの産業用としても稼働しています。

NEW **MATRIX ADVANCE**

マトリクスアドバンス

2024年10月 受注開始

2024年12月 出荷開始



40~60 馬力

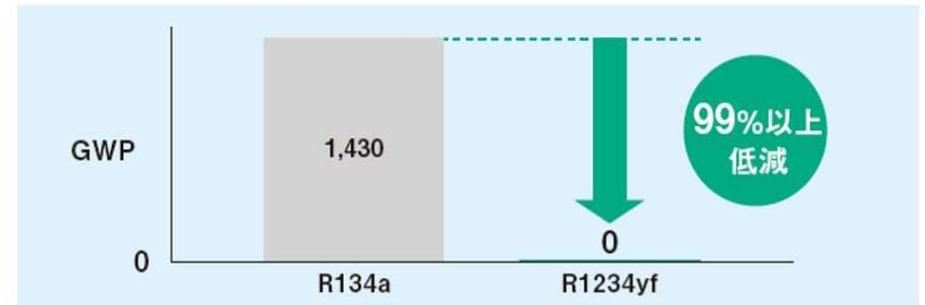


80~120 馬力

低 GWP 冷媒【HF0】 R1234yf の採用

冷媒 R1234yf は地球温暖化係数^{※1}が「0」となり、従来の冷媒 R134a の「1430」に比べて **99%以上低減した冷媒^{※3}です。**

地球温暖化係数(GWP^{※2})



- ※1. 地球温暖化に与える影響を数値化したものを示します。数値が大きいほど温暖化への影響が大きいことを示します。
- ※2. 出典：JRA GL-08_2024「冷凍空調機器の冷媒回収に係る回収口形状と表示ガイドライン」地球温暖化係数。
- ※3. 空調機や冷凍機内を循環して、圧縮による液化・放熱・気化・吸熱を繰り返して冷却する媒体として用いられる物質です。

丸徳商事有限公司

～R FARM PROJECT～

事業所紹介

静岡市にて約9年前より産業廃棄物(動植物性残渣・下水汚泥)を肥料へとリサイクルをしております。製造した肥料を静岡県内の荒廃農地へと活用し、農家さんと連携して大生姜栽培を始め、市内の企業様の方と商品開発・販売をしております。

代表者 松崎 徹志
業種 産業廃棄物処理業
所在地 静岡市清水区鳥坂 575 番地
電話番号 054-345-5173

【取組を始めた背景・目的等】

以前まで全量焼却処理をしていましたが環境問題や地元貢献について考え、動植物性残渣・下水汚泥を焼却せずに肥料へとリサイクルを始めました。製造した肥料の活用方法を模索し、増加している荒廃農地(特にお茶)に着目しました。自社肥料と相性の良い大生姜栽培を農家さんと連携して行っています。また、継続した農業を叶えるべく、市内の企業様・飲食店様と協力し、生姜商品を開発・販売しています。

【具体的な取組】

焼却処理をしていた産業廃棄物(動植物性残渣・下水汚泥)を肥料へとリサイクルをしています。製造した肥料を活用して荒廃農地を蘇らせ、大生姜栽培を農家さんと連携して実施中。収穫した大生姜は市内の製造業社、飲食店等にて生姜商品として製造・販売しています。

プロジェクトサイト：<https://r-farm.jp/>

通販サイト：<https://r-farm.shop-pro.jp/>

【取組の効果・実績等】

生姜栽培 2023年:約600kg 生姜商品(ジンジャービール、ジンジャージェラート、ジンジャーシロップ)を開発・販売中。



取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

ご興味ある方(大生姜栽培、生姜商品の開発、生姜商品の販売)はぜひお問い合わせ下さい！静岡県産大生姜を広め、農業の衰退を食い止めるべく取り組みを行っています。

担当 大上 弘奈

連絡先 054-394-0338

理研軽金属工業株式会社

～アルミ缶回収プロジェクト～

事業所紹介

当社は、静岡市に本社工場を構える、建築材料を中心に様々なアルミ製品を一貫生産で提供しているアルミ総合メーカーです。理化学研究所静岡工場として昭和12年に創業を開始し、今年で86周年です。

代表者 福富 俊輔
業種 非鉄金属・製造業
所在地 静岡市駿河区曲金3丁目2番1号
電話番号 054-281-1115

【取組を始めた背景・目的等】

近隣小学校の生徒が社会科見学に来るので交流がありました。弊社社長が小学校訪問を行った際にアルミ缶回収を行っていることを知り、何か地域貢献できる環境活動ができないかと考え、学用品の提供を目的に共同でのアルミ缶回収の話を持ち掛けました。弊社でも従業員がアルミ缶回収を行っているので、その売却益と小学校でのアルミ缶回収の売却益を合わせることで、より多くの学用品の提供ができると考えプロジェクトをスタートさせました。



【具体的な取組】

毎月小学校へ訪問しアルミ缶を回収しています。回収後に重量を計測し、前年度と比較したグラフを小学校へ提出も行っています。こちらは校長室の前に掲示してくれています。

会社正門に回収BOXを設置し、従業員も積極的に回収を行っています。

(地域住民の方も入れることができます)

葵祭という地域住民の方に向けたお祭りを年に1回開催しており、その中のエココーナーにてアルミ缶回収の実績や提供した学用品などの報告も行っています。



【取組の効果・実績等】

様々な学用品の提供を行いました。(壁掛け時計、ボール、折りたたみコンテナ等)

小学生の環境意識向上に寄与することや、地域住民に向けた地域貢献アピールの効果もあります。



取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

社内の自動販売機で出たアルミ缶を回収し、地域のボランティア団体に渡すことも地域の環境活動およびSDGs活動につながると思います。できることから始めてみてはいかがでしょうか。

担当 品質環境推進室 佐竹基雄 連絡先 054-281-1115

立華株式会社 清水営業所

～機密書類のリサイクル～

事業所紹介

1971年に設立して以来、環境をキーワードに「環境測定分析」「労働安全衛生」「メンテナンス」の3つの事業を柱に、地域環境の向上と保持、事業所内の作業環境の快適化を図り、社会に貢献しています。

代表者 池田勝弘
業種 専門・技術サービス業
所在地 清水区村松原 3-1-5
電話番号 054-324-2005

【取組を始めた背景・目的等】

弊社では証明書、報告書等の機密書類を保管期間の終了後に、年1回、まとめて処分を行っていましたが、秘密保持が必要のため、すべて焼却処分を行っていました。処分量は段ボール箱100箱（約1500kg）ほどになりますが、社員からリサイクルの提案があり、製紙会社様に持ち込み、溶解処理に変更しました。

【具体的な取組】

毎年1回、保管期間の終了した機密書類を製紙会社様にてリサイクル処理しています。

【取組の効果・実績等】

毎年1回、1000～1500kgの機密書類のリサイクルを20年間行っています。



取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

証明書、報告書、経理書類、個人情報を書かれた書類等は保管期限が過ぎたとしても機密書類であり、その処分は慎重に行わなくてはなりません。

現在、機密書類を処分していただける業者様は数多くあります。

紙も大事な資源です。出来る限りリサイクルを行いましょう。

担当 門倉円香 連絡先 本社事務部 0545-61-8402

立華株式会社 清水営業所

～三保真崎海岸清掃に参加～

【取組を始めた背景・目的等】

静岡県環境保全推進協力会様が環境月間に合わせて実施されている三保真崎海岸清掃活動に参加させていただきました。
環境月間中に地元の環境保全に貢献するとともに、弊社従業員の環境に対する意識向上につながる活動として考えています。

【具体的な取組】

弊社従業員から参加希望者を募り、
参加しています。

【取組の効果・実績等】

毎年参加していますが、参加者が
拾ったごみの種類の話をするなど、
環境を考える活動となっています。



取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

ペットボトルなどの容器包装から家庭用品やおもちゃまで、日常生活のあらゆる場所で利用されているプラスチック。便利な一方で、ポイ捨てなど不適切に処分されたプラスチックごみが大量に海に流れ出て、海の環境を汚し、海の生き物にも悪影響を及ぼしています。

海岸漂着物の回収をすることで、海洋プラスチック問題の解決に貢献できます。

担当 門倉円香 連絡先 本社事務部 0545-61-8402

静岡市

～かにゅゼミ～Z世代が考えるカーボンニュートラル～

事業所紹介(SDGs×静岡市について)

静岡市は、北は南アルプスから南は駿河湾に至るまで、豊かな自然環境を有しながら、独自の文化や産業を育み発展を続けてきました。SDGsの推進に寄与し、公益性と行政の両立を図りながら「世界に輝く静岡」の実現を目指します。

代表者	難波 喬司
業種	公務
所在地	静岡市葵区追手町5番1号
電話番号	054-251-2111

【取組を始めた背景・目的等】

静岡市は、「2030年までの温室効果ガス排出量51%削減」の目標達成に向けて、既存の取組だけでなく、改めて「なぜ、削減が重要なのか」「何から取り組めばいいのか」を新たな視点で考え、市民や事業者の皆さんが積極的に参加できる取組を展開していく必要があります。

そこで、環境意識が高く、デジタルネイティブで情報発信力の高いZ世代の環境局8課の職員をメンバーとして「かにゅゼミ」を6月から実施しています。

【具体的な取組】

これまで、3回のゼミを実施し、その中で大学生等との意見交換の場を設けるなどして、広く意見を取り入れながら、施策の立案に繋がるよう取組内容のブラッシュアップを実施しています。今後は、成果発表等を実施し、市としての施策となるよう取組を進めていきます。

【取組の効果・実績等】

令和7年度以降の予算化を目指して、取組を進めていきます。

取組を始めたい方へのアドバイス・メッセージ等

静岡市は、「2030年までの温室効果ガス排出量51%削減」の目標達成に向けて、さらなる取組の推進を図っていきます。

担当 静岡市GX推進課

連絡先 054-221-1306